

Microsoft.NET Framework インストール手順

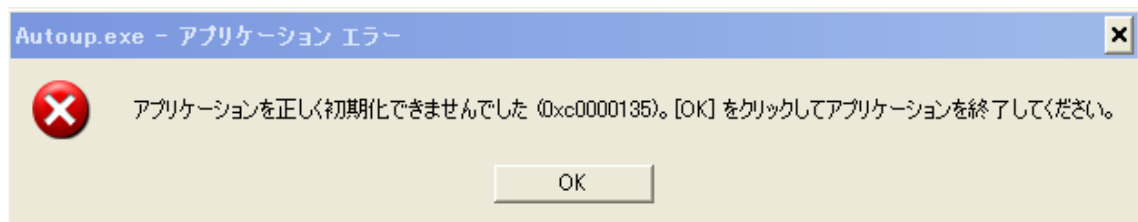
1. はじめに

以下のバージョンより、@dream をご利用される際には「Microsoft.NET Framework 2.0」以降のバージョンと「Microsoft.NET Framework 4」が必要となります。

- ・ @dream-Progre 売買版 Ver. 4 以降、@dream-Progre 賃貸版 Ver. 4 以降

オペレーションシステムが Windows8 の場合は、「5. Windows8 への .NET Framework 3.5 インストールについて」を参照してください。

※ 「Microsoft.NET Framework 2.0」以上がインストールされていない場合、@dream を起動すると下図のようなエラー画面が表示されます。



または



また、動的 HP やブログ投稿機能などを起動しようとするとき以下のようなエラー画面が表示される場合があります。これは、「Microsoft.NET Framework 4」がインストールされていない場合に表示されます。



「2. Microsoft .NET Framework インストール確認方法」をご参考の上、必要な Framework がインストールされていない場合はインストール手順に従い、ご利用される PC にインストールを行ってください。

Microsoft .NET Framework 2.0 以降がインストールされていない場合は以下の章を参照してください。

「3. Microsoft .NET Framework 2.0 以降インストール手順」

Microsoft .NET Framework 4 がインストールされていない場合は以下の章を参照してください。

「4. Microsoft .NET Framework 4 インストール手順」

その他オプションソフトのインストール、@dream データ移行、全ての作業が完了後、「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「Windows Update」をクリックし、Windows を最新の状態に保ってください。

.NET Framework および OS を最新の状態に更新してください。

優先度の高い更新プログラム

これは、システム全体に関わる更新プログラムまたは複数の問題を解決する更新プログラム、更新プログラムとは別にインストールする必要があります。まず、この更新プログラムをインストールし、その後ホームページに戻って、他に優先度の高い更新プログラムが必要でないか確認することをお勧めします

Microsoft Windows XP

.NET Version 2.0 ~ 3.5 用 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 および .NET Framework 3.5 ファミリー更新プログラム (KB951847) x86

ダウンロード サイズ: 69.2 MB , < 1 分

Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 は、.NET Framework 2.0、3.0、3.5 上で過去提供された多数の新機能や、.NET Framework 2.0 と .NET Framework 3.0 のサブコンポーネントに対してこれまで提供されてきたサービス更新プログラムすべてを含む、累積的な更新プログラムです。.NET Framework 3.5 ファミリー更新プログラムでは、アプリケーションの互換性に関する重要な更新が行われています。この Service Pack と更新プログラムの組み合わせは、.NET Version 2.0 ~ 3.5 に適用可能です。 [詳細...](#)

.NET Framework 2.0 ~ 3.5 (Service Pack 含む) および OS の Service Pack を全て更新してください

Microsoft .NET Framework 4 用の更新プログラム、Windows XP x86、Windows Server 2008 x86 および Windows Server 2008 x86 向け (KB2533523)

ダウンロード サイズ: 19.4 MB , < 1 分

この更新プログラムは、Microsoft .NET Framework 4 の安定性、信頼性およびパフォーマンスの再起動が必要になる場合があります。 [詳細...](#)

この更新プログラムを非表示にする

.NET Framework 4.0 (Service Pack 含む) を最新に更新してください

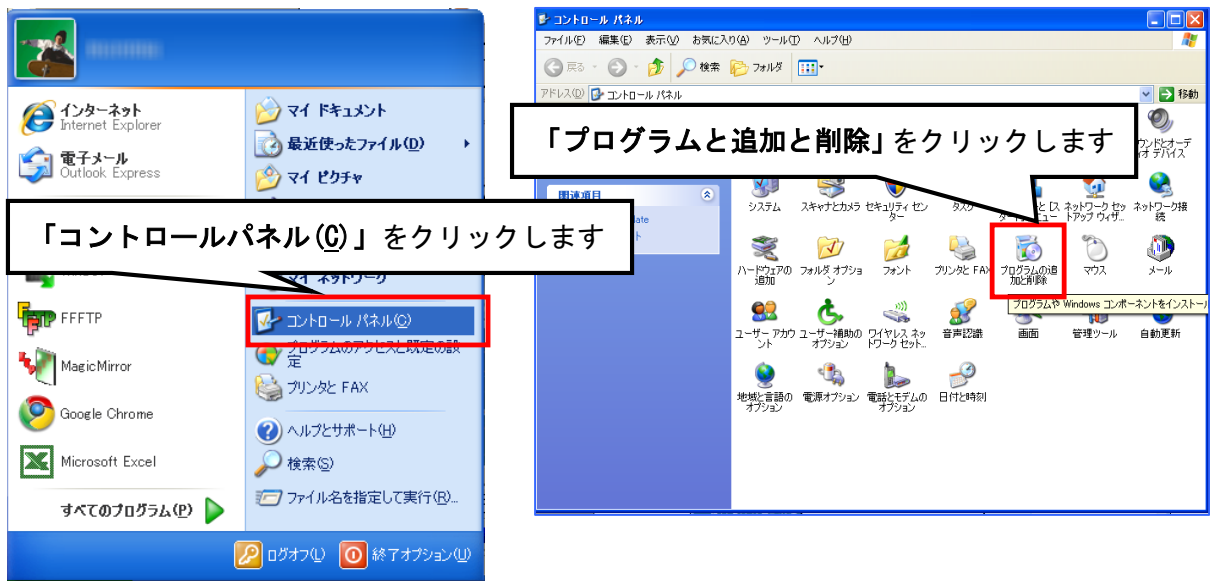
2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法

※確認、インストールは「Administrators 権限」を持つユーザーで行ってください。

Windows XP の場合

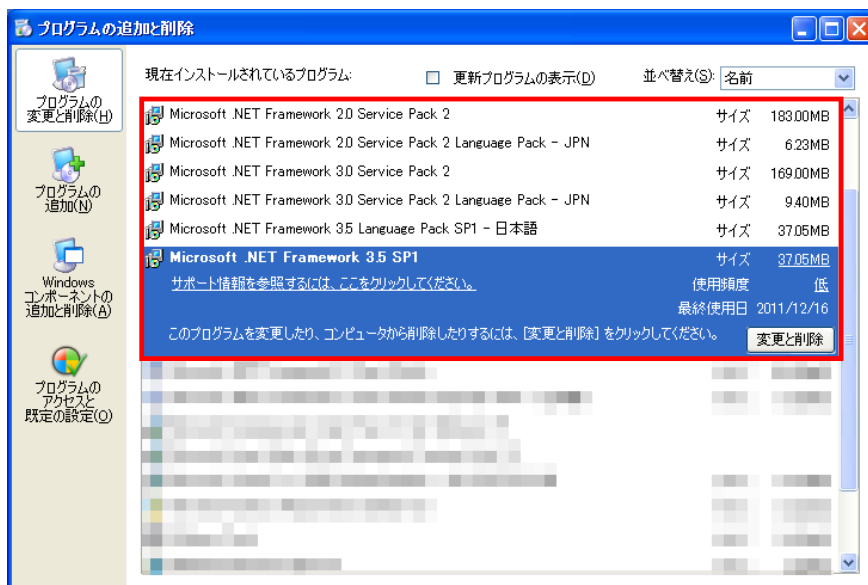
① 「プログラムの追加と削除」画面を開きます。

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」アイコンを順にクリックします。



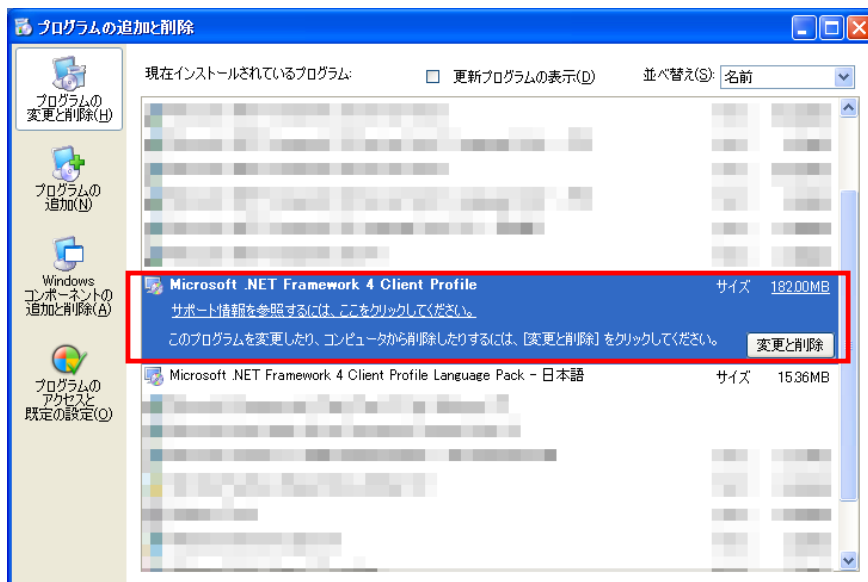
② 「Microsoft.NET Framework2.0」以降がインストールされていることを確認します。

(画面は Microsoft.NET Framework2.0～3.5SP1 までインストールしています)



③上記と同様に「Microsoft .NET Framework 4 Client Profile」がインストールされていることを確認します。

※ 説明では Framework4 となっていますが、インストールされる物は Microsoft .NET Framework 4 Client Profile となります。



3. Microsoft.NET Framework 2.0 以降インストール手順

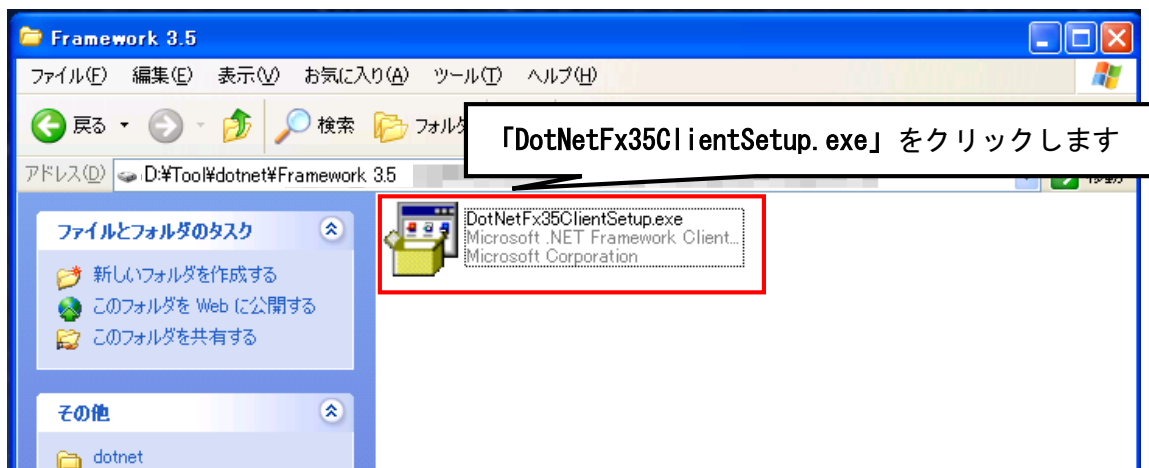
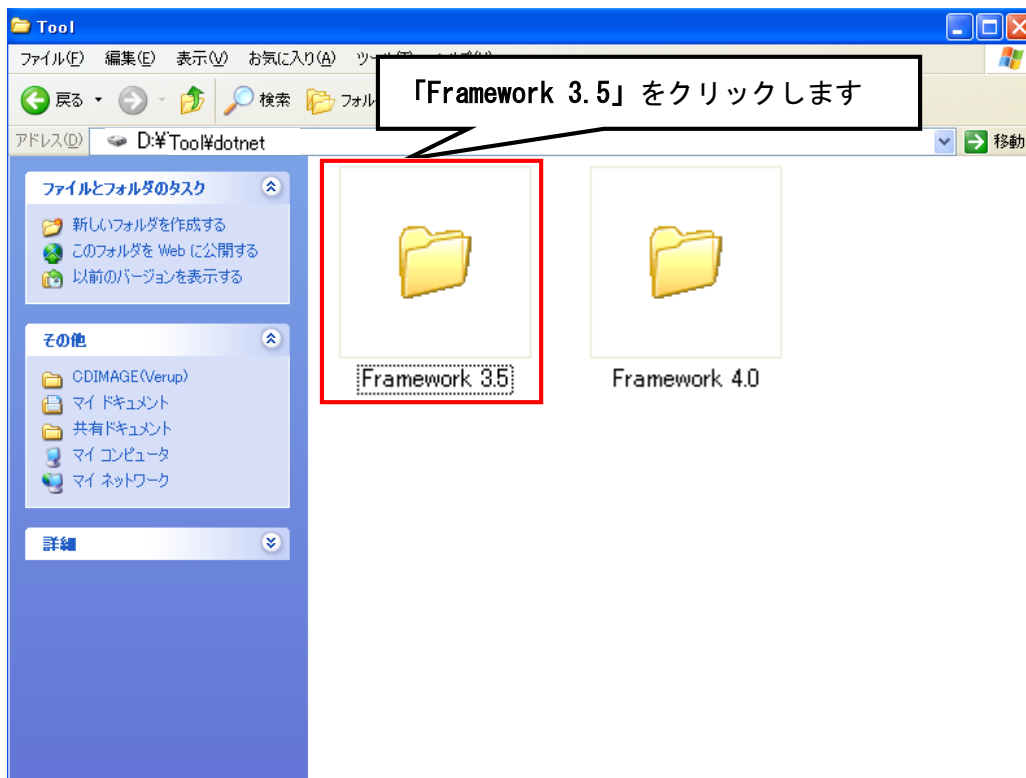
「2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法」と同じ方法でプログラムが確認できない場合は手順に沿って以降の手順でインストールを行ってください。

① @dream のインストール CD を CD ドライブにセットしてください。

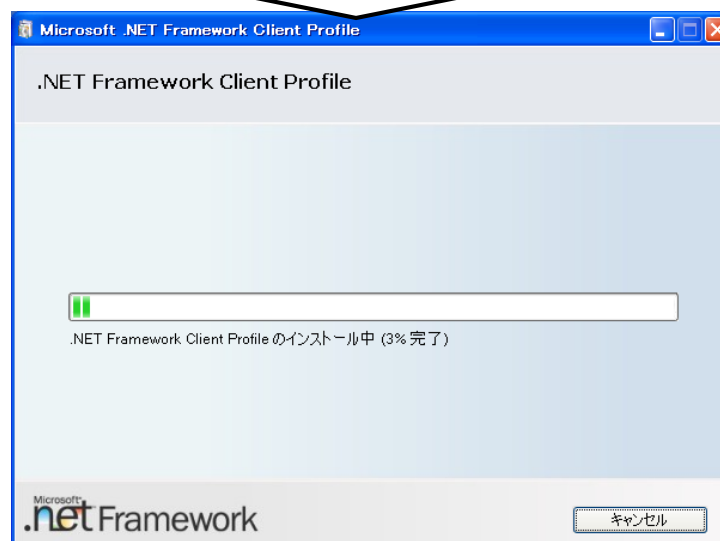
② 「DotNetFx35ClientSetup.exe」 をインストールします。

i CD ドライブから「Tool」 → 「dotnet」 →

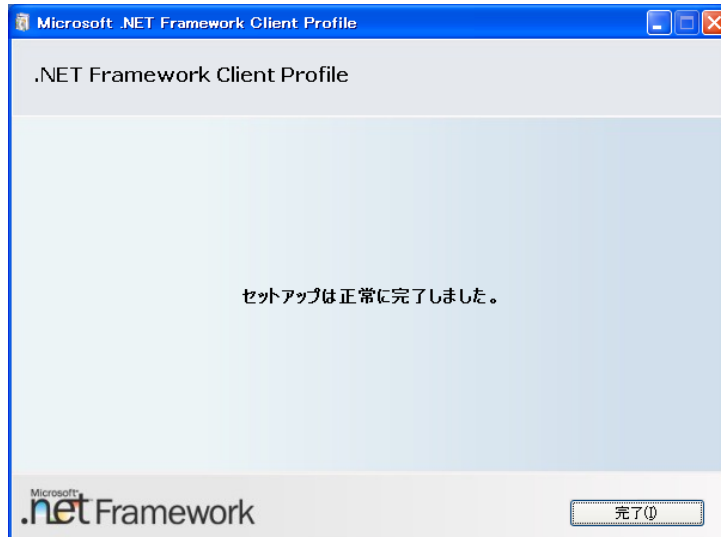
「Framework 3.5」 → 「DotNetFx35ClientSetup.exe」 をダブルクリックします。



- ii 画面に従って「Microsoft .NET Framework Client Profile」をインストールします。『同意する』ボタンをクリックし、インストールを進めます。



iii 以下のような画面が表示されればセットアップ完了です。

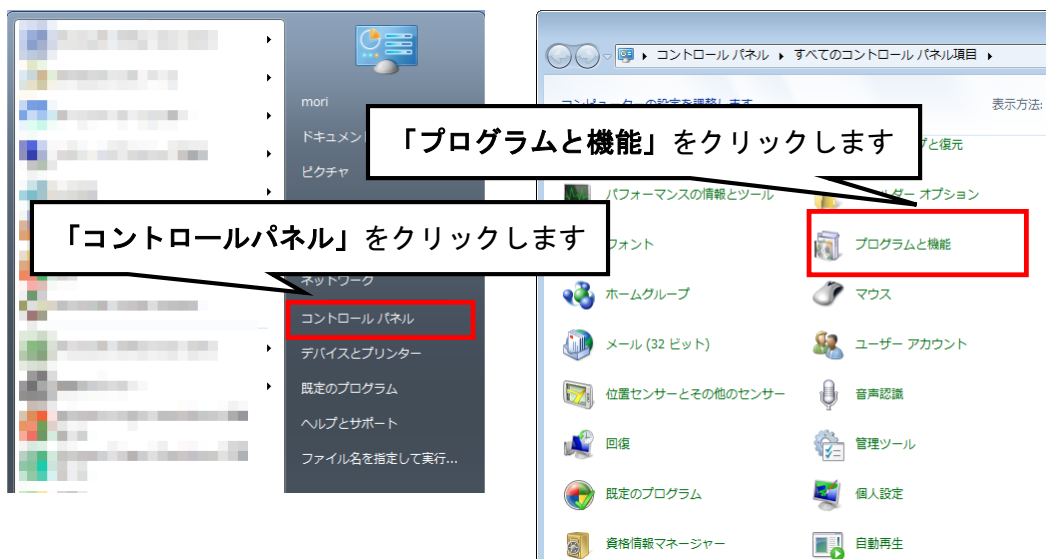


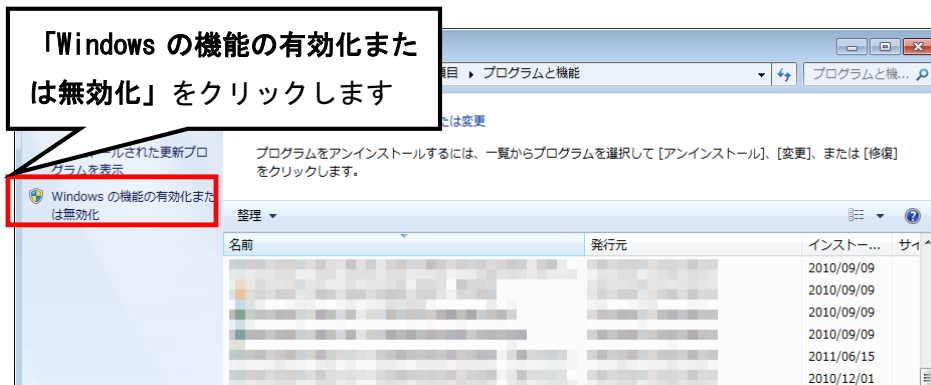
Windows Vista/7 の場合

Windows Vista/7 では標準で「Microsoft.NET Framework 2.0」以降がインストールされていますが、念のためご確認ください。

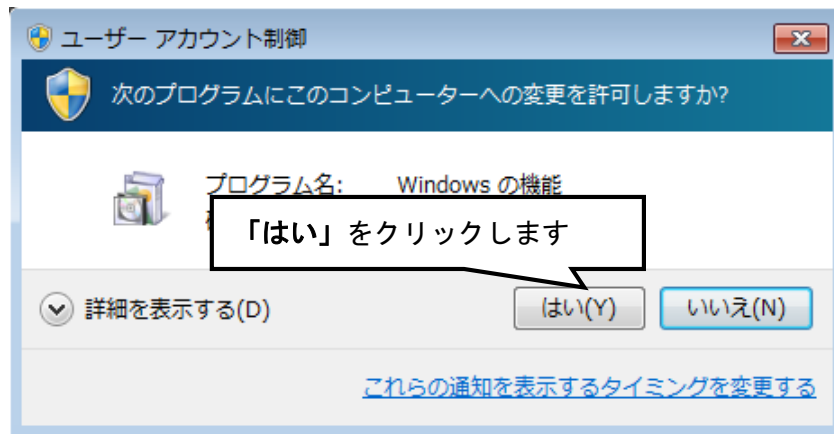
① 「プログラム」画面を開きます。

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」→「Windowsの機能の有効化または無効化」を順にクリックします。



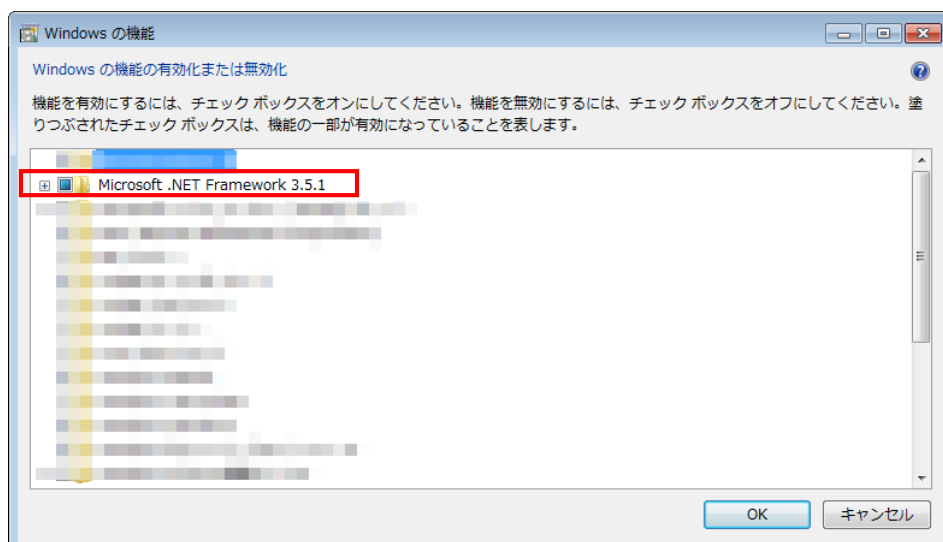


- ② 「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



- ③ 「Windows の機能」画面で、「Microsoft .NET Framework*. *」にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合は、チェックを付けて OK をクリックしてください。

※ 「*. *」の番号は OS によって変わります。



4. Microsoft.NET Framework 4 インストール手順

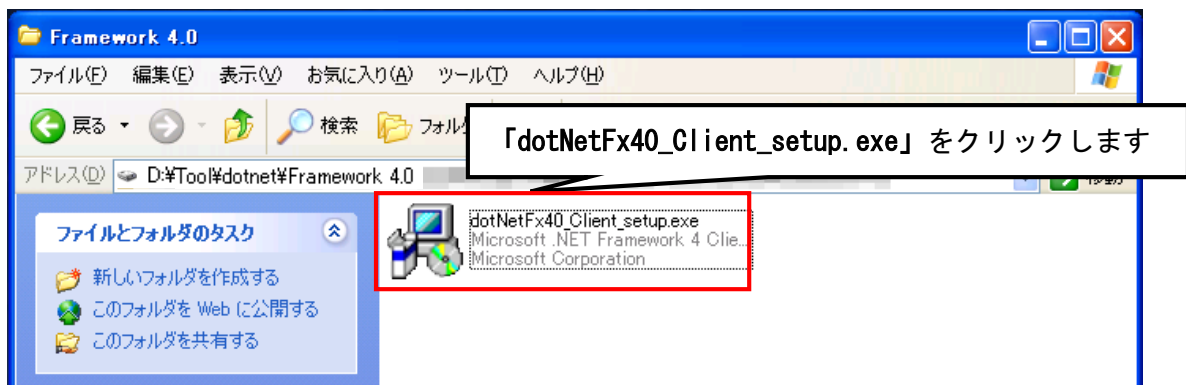
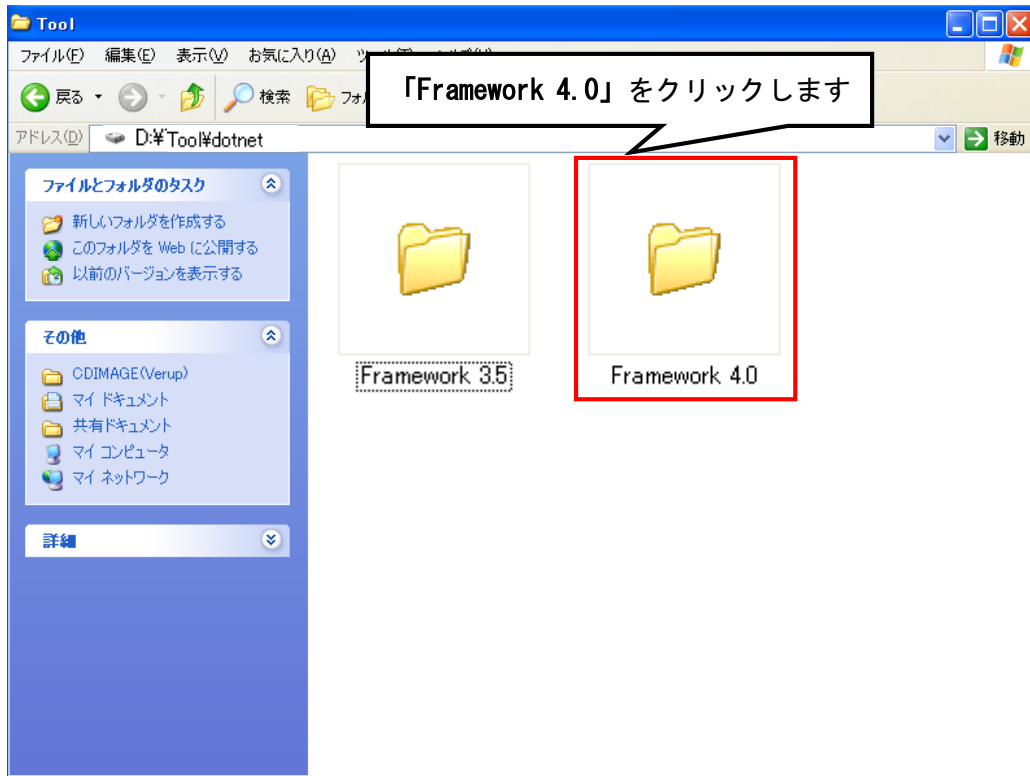
「2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法」と同じ方法でプログラムが確認できない場合は手順に沿って以降の手順でインストールを行ってください。

① @dream のインストール CD を CD ドライブにセットしてください。

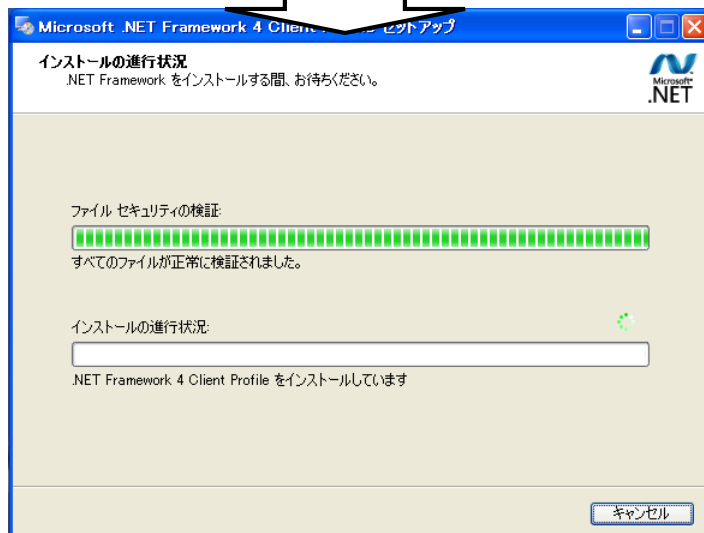
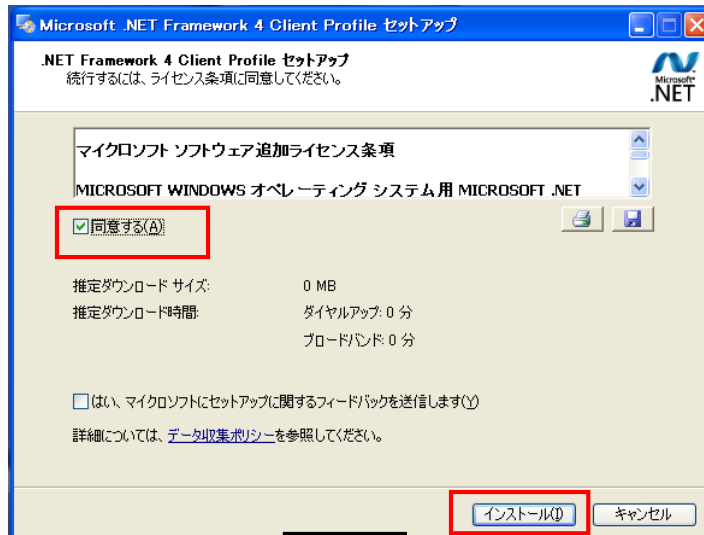
② 「dotNetFx40_Client_setup.exe」をインストールします。

i CD ドライブから「Tool」→「dotnet」→

「Framework 4.0」→「dotNetFx40_Client_setup.exe」をダブルクリックします。



- ii 画面に従って Microsoft .NET Framework 4 Client Profile をインストールします。『同意する』にチェックを付け、『インストール』ボタンをクリックしてください。



iii 以下のような画面が表示されればセットアップ完了です。

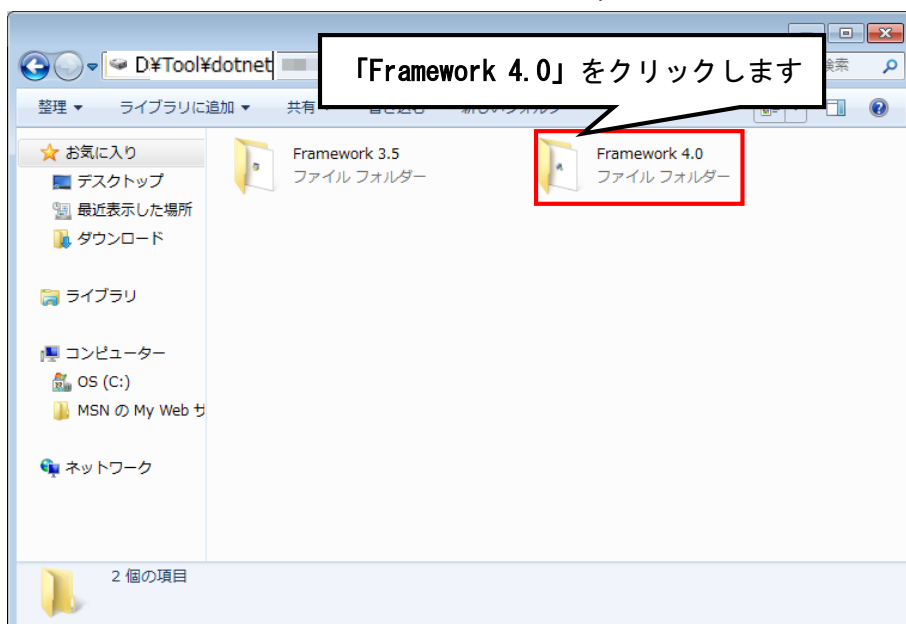


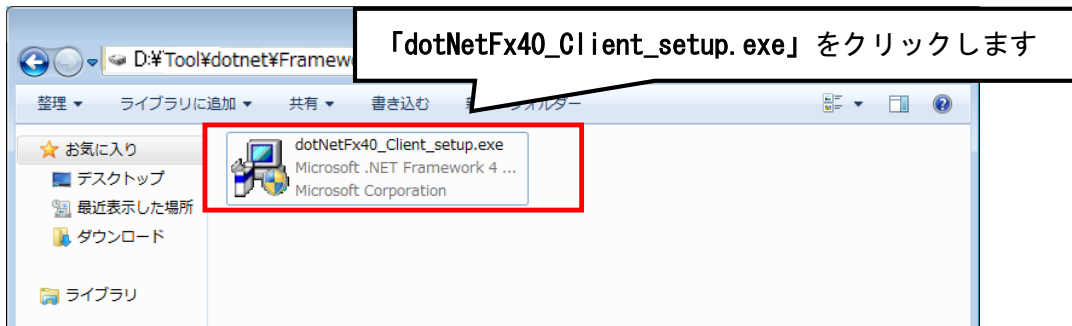
Windows Vista/7 の場合

「2. Microsoft .NET Framework インストール確認方法」と同じ方法でプログラムが確認できない場合は手順に沿って以降の手順でインストールを行ってください。

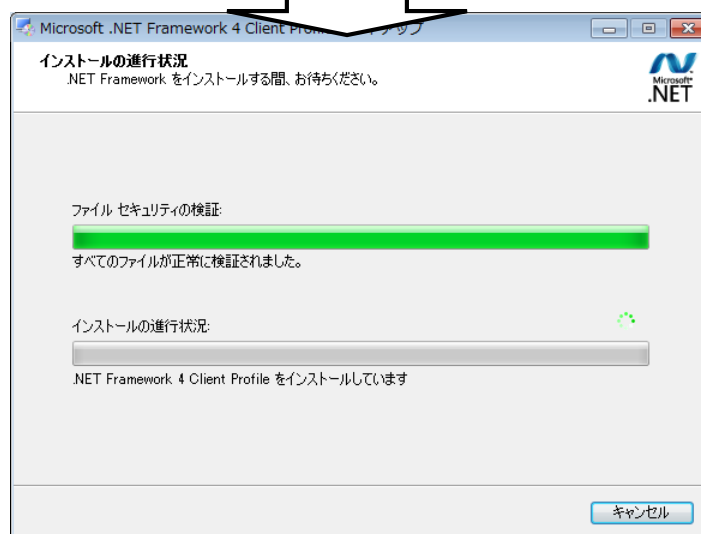
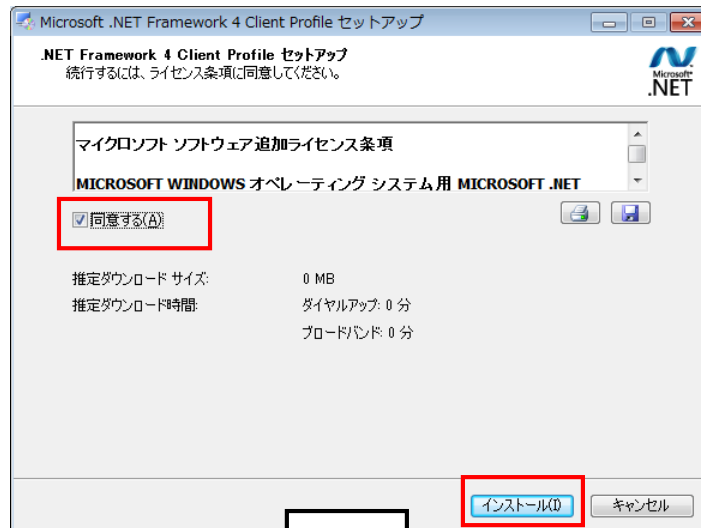
- ① @dream のインストール CD を CD ドライブにセットしてください。
- ② 「dotNetFx40_Client_setup.exe」をインストールします。

- i CD ドライブから「Tool」→「dotnet」→
「Framework 4.0」 「dotNetFx40_Client_setup.exe」をダブルクリックします。





- ii 画面に従って Microsoft .NET Framework 4 Client Profile をインストールします。『同意する』にチェックを付け、『インストール』ボタンをクリックしてください。

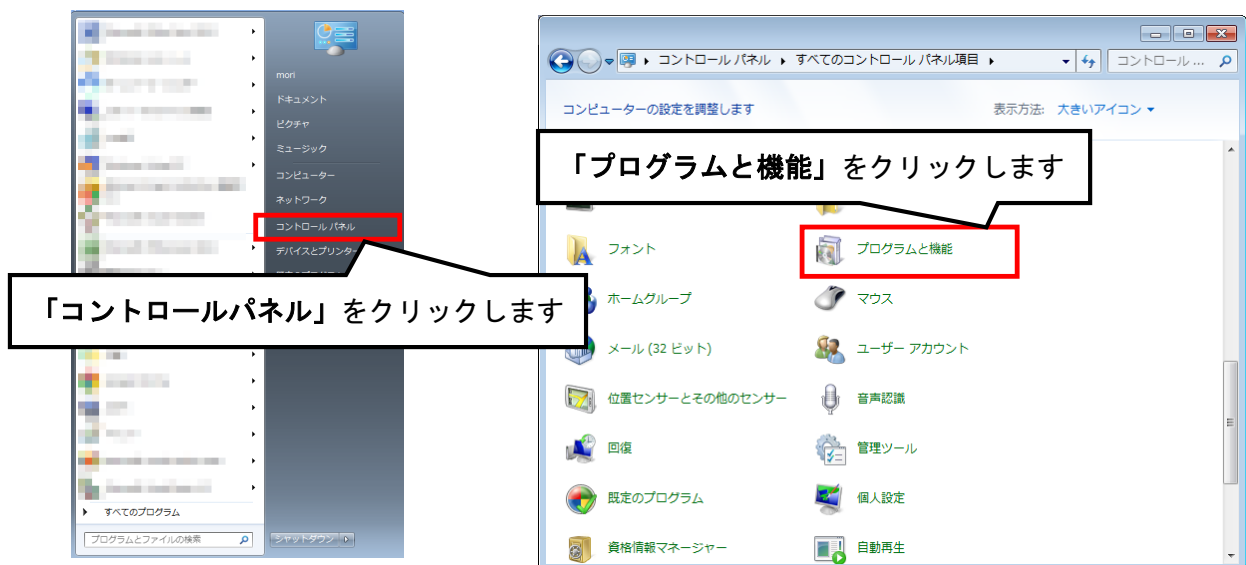


iii 以下のような画面が表示されればセットアップ完了です。

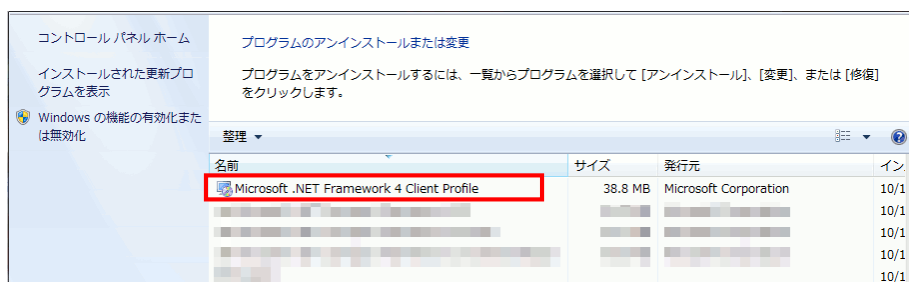


③ 「プログラム」画面を開きます。

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」を順にクリックします。



④ 「Windows の機能」画面で、「Microsoft .NET Framework 4 Client Profile」が表示されていれば OK です。



5. Windows8 への .NET Framework 3.5 インストールについて

はじめに

.NET Framework 4.5 は Windows 8 に含まれており、オペレーティング システムと共にコンピューターにインストールされますので、.NET Framework 4 (または、.NET Framework 4 Client Profile) をインストールする必要はありません。

ただし、.NET Framework 3.5 は Windows8 と共に自動的にインストールされません。Windows8 で .NET Framework 3.5 を必要とするアプリケーションを実行するには、コンピューターでバージョン 3.5 を有効にする必要があります。

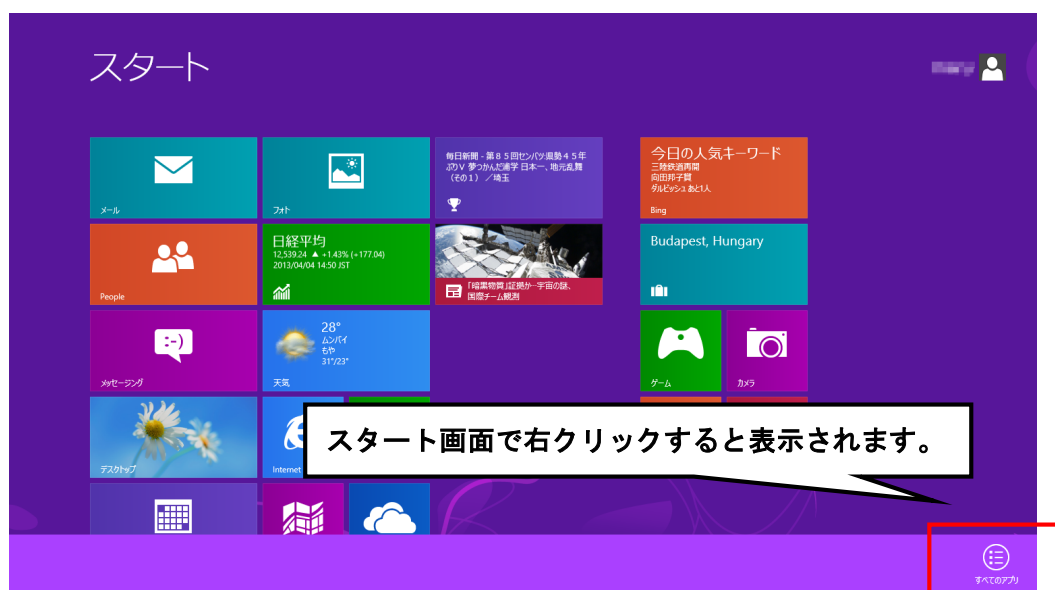
ただし、製品出荷時に .NET Framework 3.5 がオペレーティング システムと共にコンピューターにインストールされている場合もあります。

はじめに、ご使用の PC に .NET Framework 3.5 がインストールされているのか確認を行きましょう。

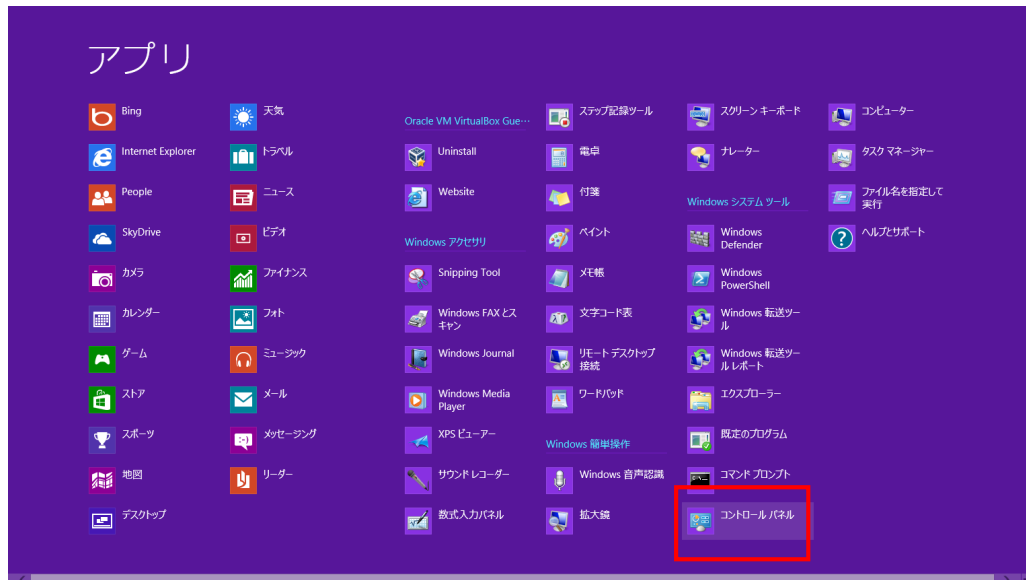
.NET Framework 3.5 の確認

スタート画面から「すべてのアプリ」をクリックします。

※スタート画面は、キーボードの Windows キーを押下すると表示されます。



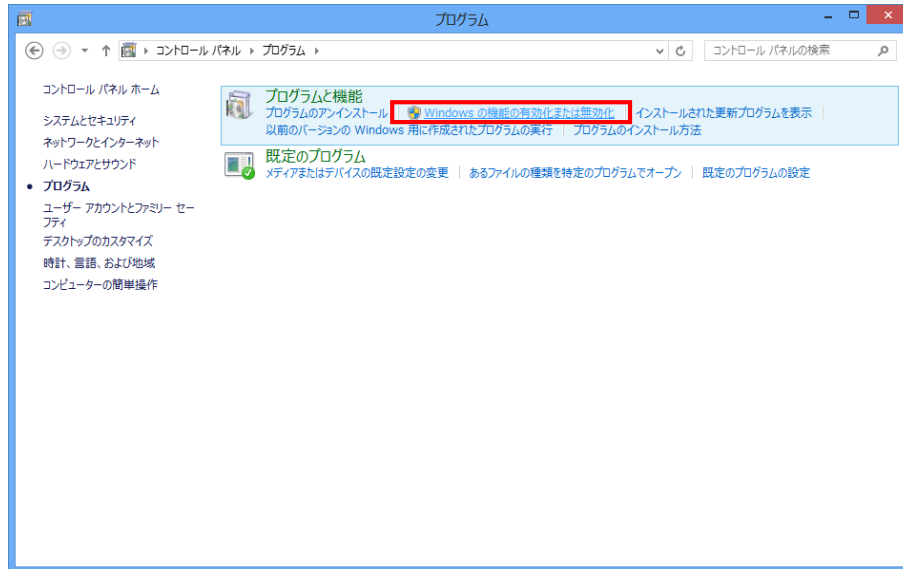
次に「コントロールパネル」をクリックします。



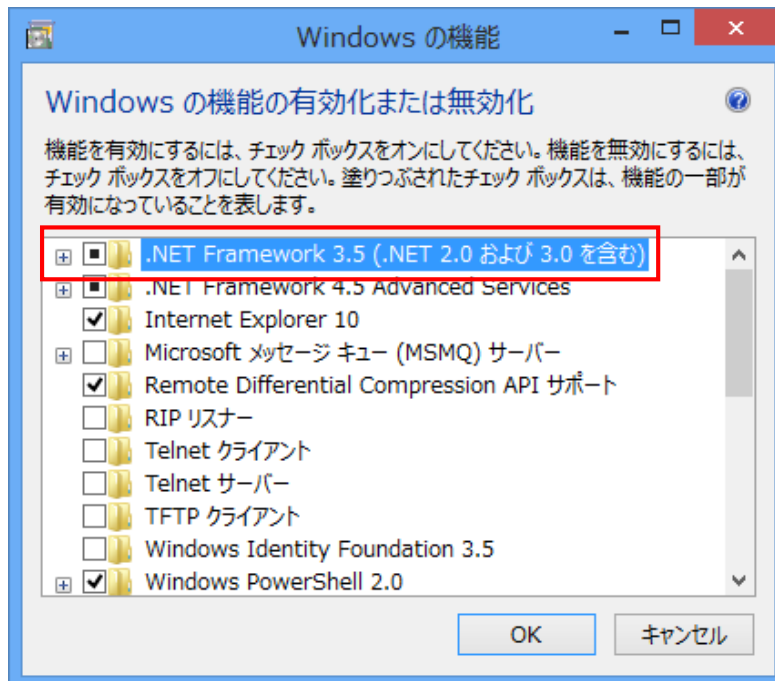
「コントロールパネル」から「プログラム」をクリックします。



「プログラムと機能」から「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックします。



「Windows の機能」画面で、「.NET Framework 3.5」にチェックが付いていることを確認します。（コンピューターによっては、.Net Framework 3.5.1 と表示されています）
チェックが付いている場合は、既に機能が有効化されていますので、作業は終了です。
チェックが付いていない場合は、チェックを付けて「OK」をクリックします。

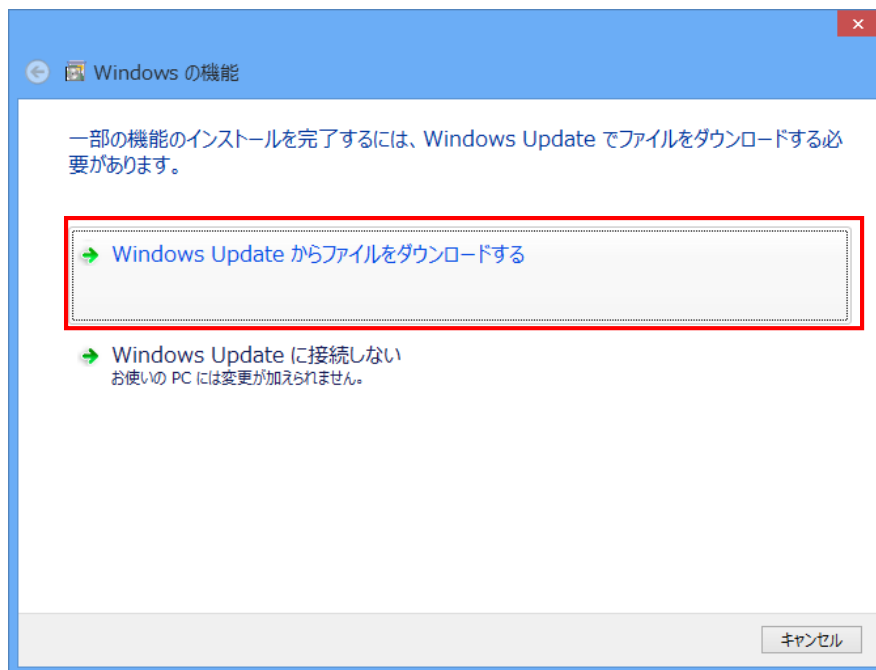


.NET Framework 3.5 のインストール

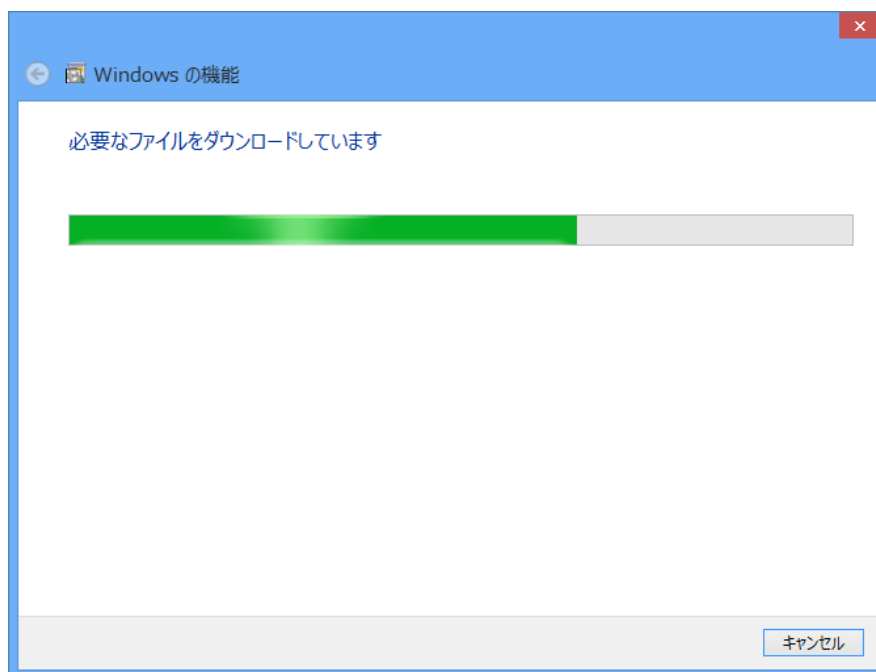
チェックを付けて OK 後、以下の画面が表示されます。

「Windows Update からファイルをダウンロードする」をクリックします。

※下記手順で Windows8 に .NET Framework 3.5 をインストールするにはインターネット環境が必要になります。

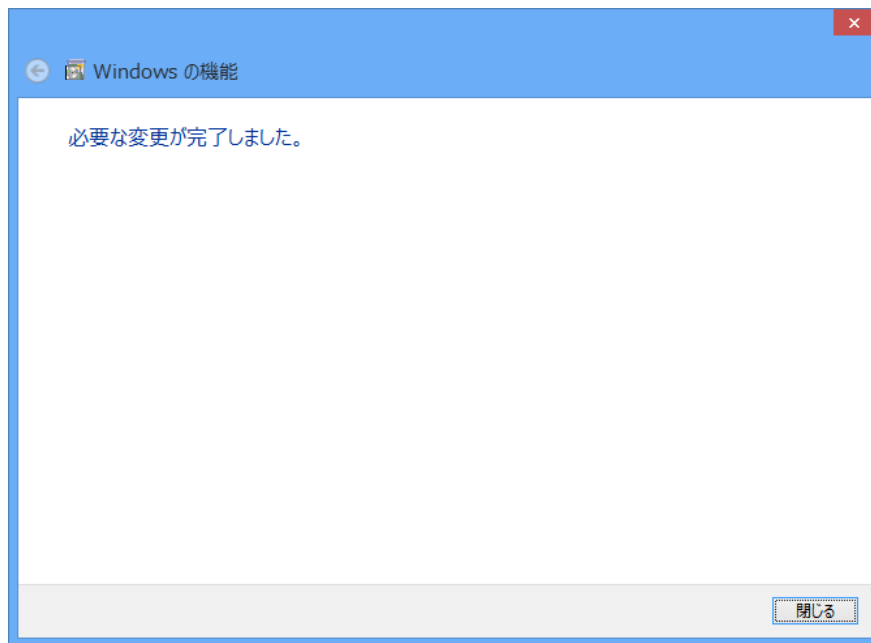


ダウンロードが開始されます。



ダウンロードが完了しました。

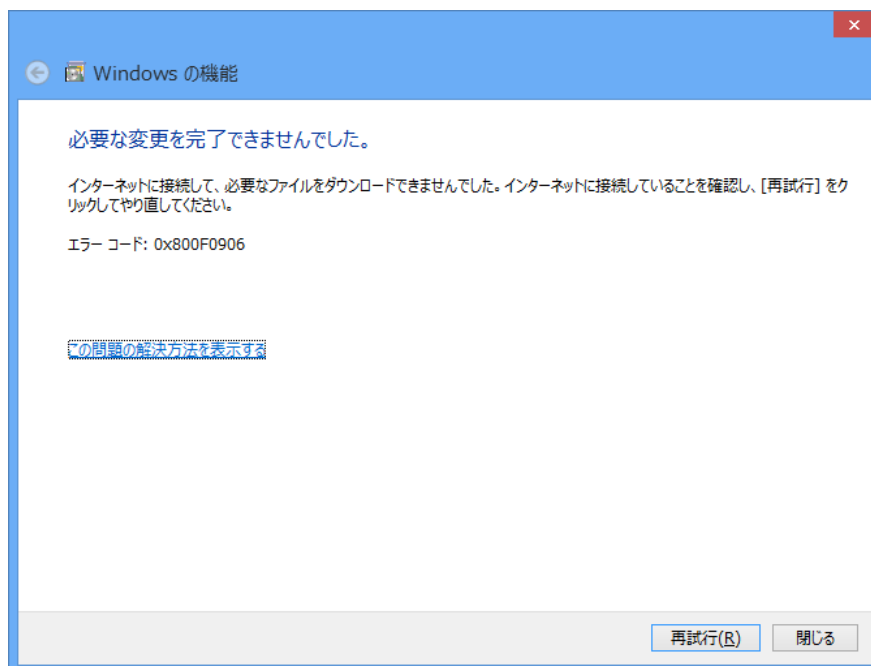
これで .NET Framework 3.5 のインストールが完了しました。



失敗してしまった場合（またはオフライン環境でインストールを行う場合）

下記画面のようにインターネット経由でのインストールが失敗してしまった場合、またはオフライン環境で .NET Framework 3.5 をインストールする手順を説明します。

※下記手順は、Windows8 の OS ディスクを必要とします。



まず、@dreamのインストールCDをCDドライブにセットしてください

CDドライブから「Tool」→「dotnet」→「bat」→「dismfw.bat」をデスクトップにコピーしてください。

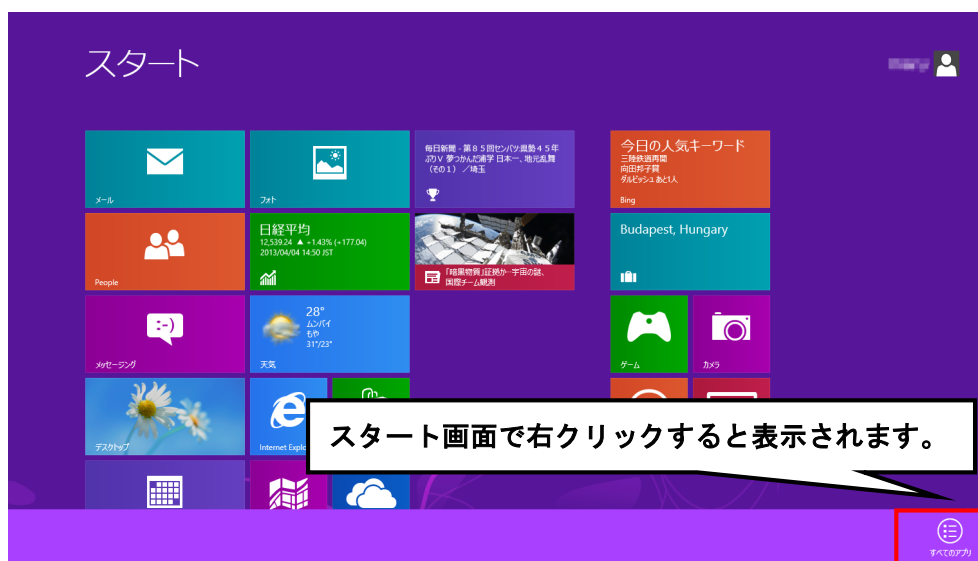


dismfw.bat

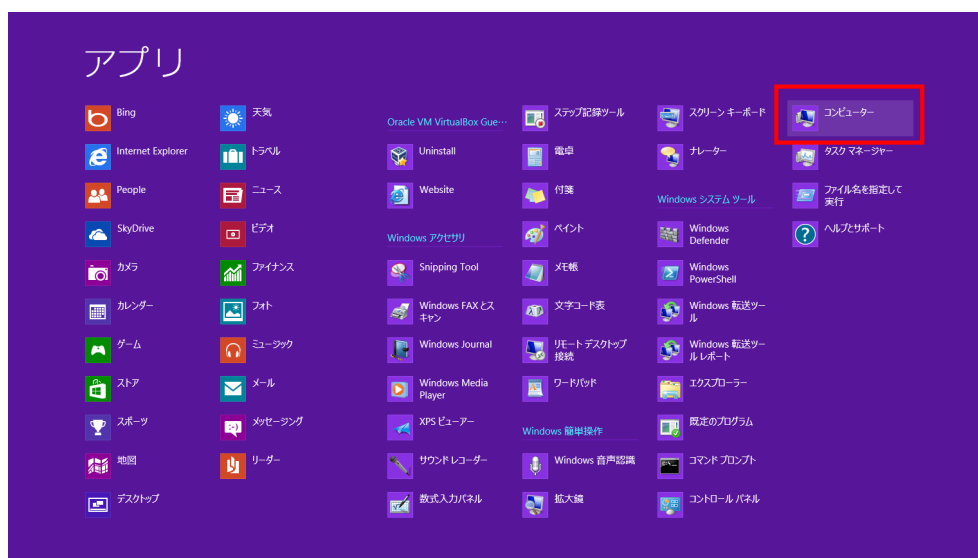
次に、CDドライブにWindows8のOSディスクを挿入します。

スタート画面から「すべてのアプリ」を選択します。

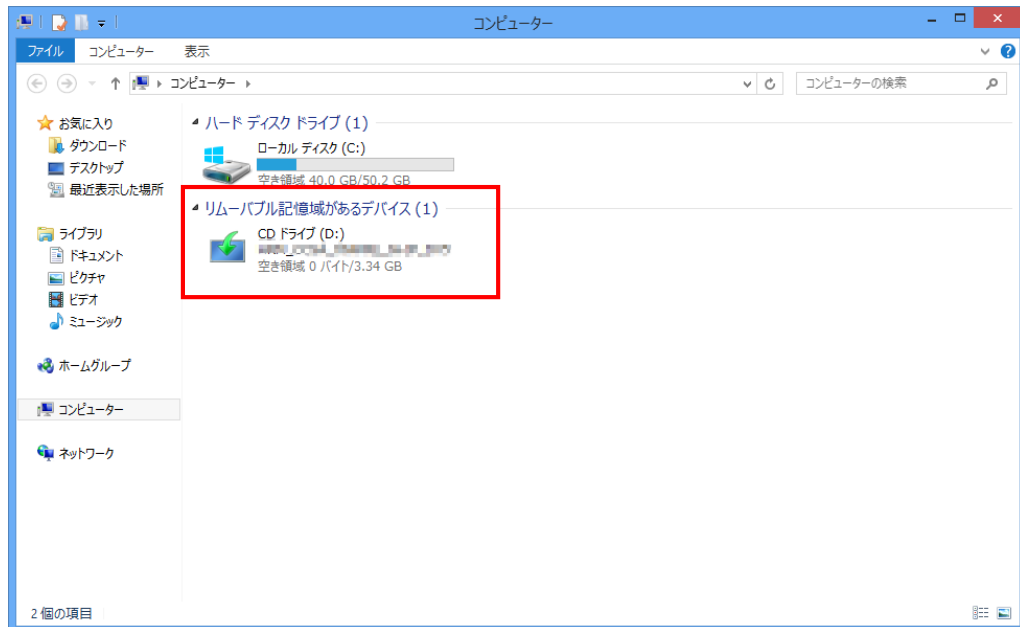
※スタート画面は、キーボードのWindowsキーを押下すると表示されます。



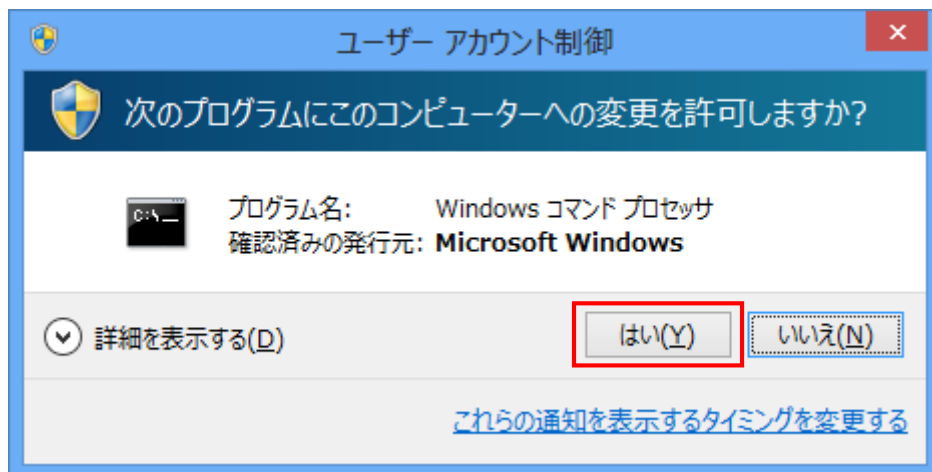
「コンピューター」をクリックします。



CD ドライブのドライブ名（下記画像の場合、ドライブ名はD）を確認します。



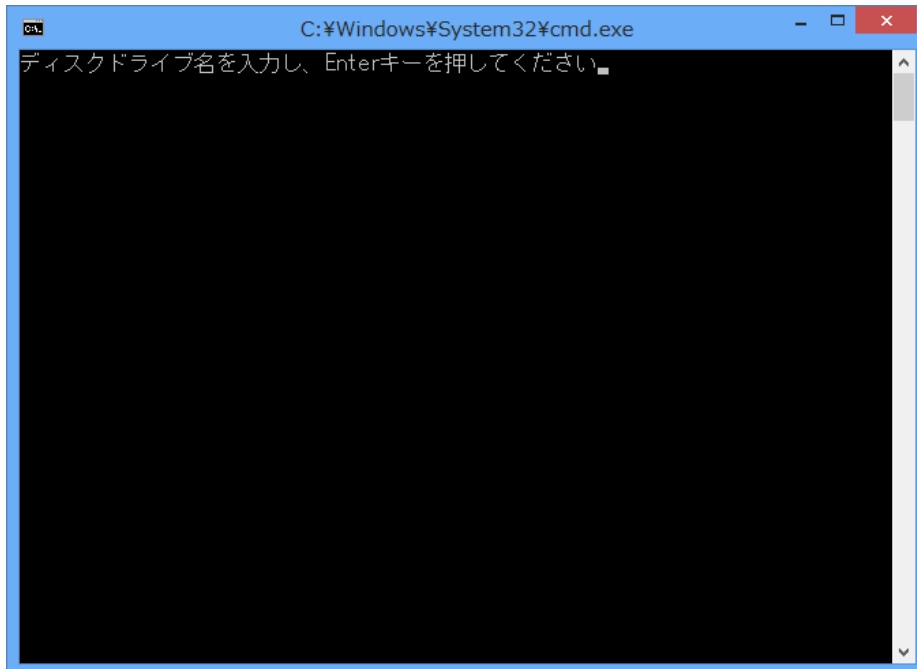
ドライブ名の確認後、デスクトップにコピーした「dismfw.bat」を選択し、右クリック→表示されるショートカットメニューから「管理者として実行」をクリックします。ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックしてください。



コマンドプロンプトが表示されます。

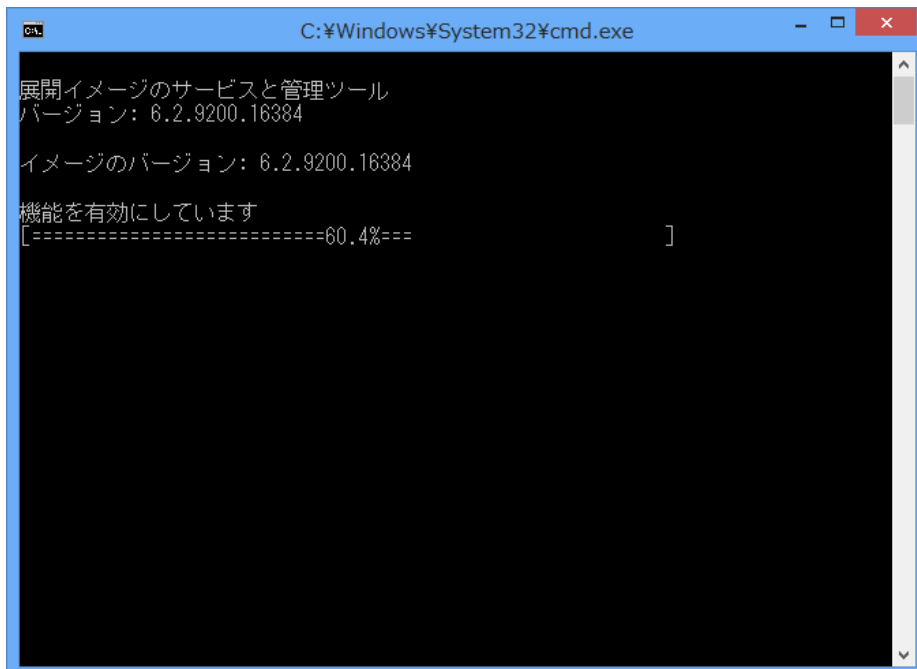
先程の手順で確認した CD ドライブ名を入力し、Enter キーを押してください。

(ドライブ名が D でしたら、D と入力してください)



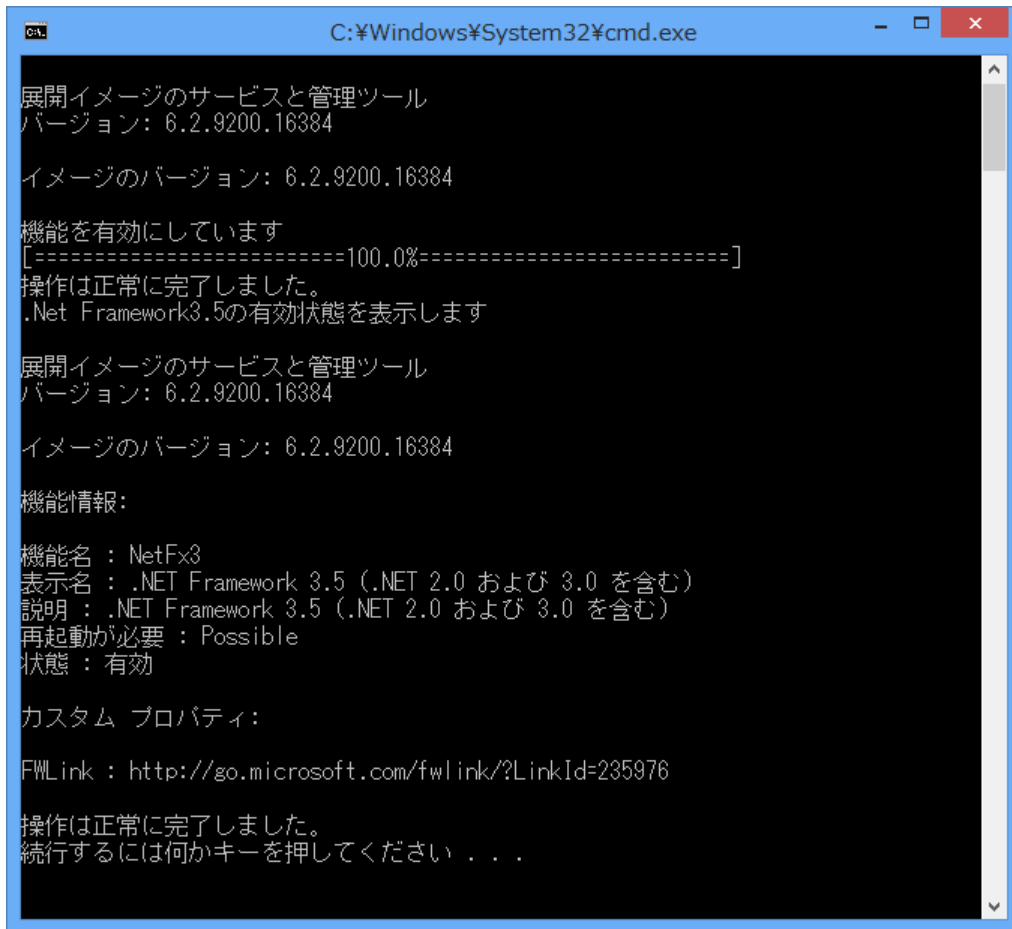
```
C:\Windows\System32\cmd.exe
ディスクドライブ名を入力し、Enterキーを押してください。
```

インストールが開始されます。



```
C:\Windows\System32\cmd.exe
展開イメージのサービスと管理ツール
バージョン: 6.2.9200.16384
イメージのバージョン: 6.2.9200.16384
機能を有効にしています
[=====60.4%===]
```

.NET Framework 3.5 のインストールが完了しました。
Enter キーを押し、コマンドプロンプトを終了します。



```
C:\Windows\System32\cmd.exe

展開イメージのサービスと管理ツール
バージョン: 6.2.9200.16384

イメージのバージョン: 6.2.9200.16384

機能を有効にしています
[=====100.0%=====]
操作は正常に完了しました。
.Net Framework3.5の有効状態を表示します

展開イメージのサービスと管理ツール
バージョン: 6.2.9200.16384

イメージのバージョン: 6.2.9200.16384

機能情報:

機能名 : NetFx3
表示名 : .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)
説明 : .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)
再起動が必要 : Possible
状態 : 有効

カスタム プロパティ:

FWLink : http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=235976

操作は正常に完了しました。
続行するには何かキーを押してください . . .
```

以上で .NET Framework 3.5 のインストール作業は終了です。